

## 理科・環境教育助成 成果報告書

第 2 回 期間：2004年11月～2005年10月

氏名：谷 友 雄 所属：福岡市立若久小学校

課題名：若久小ビオトープを利用した教材及び教育方法の開発と実施

### 1. 課題の主旨

ビオトープに棲息する水生生物等を調べることにより、身近な環境での生物の存在に気づく。地域の川や池に生息する指標となる生物を調べ、採集したり、水質のレベル毎に水生生物を分けて継続観察したりすることにより、調査に基づく情報収集能力、生物を図鑑で調べる力等の自然調査能力を育成すると共に、自然と共存する環境のあり方について考えることができるようにする。

### 2. 活動状況

平成16年11月～平成17年10月

- ・ 地域を1辺が100メートルの正方形で区分けを行うことによる観察地点の決定
- ・ 学校敷地内の植物や昆虫等の採集と標本づくり
- ・ 四季を通した、観察地点の水生生物や植物、昆虫等の観察
- ・ 地域の池や川の水生生物調査
- ・ 水質別水生生物の継続観察場所の設定（若久小水族館）
- ・ 報告書作成

### 3. 結果

- ・ 自然の生物を調べる活動を行うことにより、スケッチ力や観察力などの情報収集能力や資料活用能力を高めることができた。
- ・ 生息場所の環境と水生生物等の種類など、環境について考えることができた。
- ・ 自然環境についての関心が高まり、自然に対する見方や考え方が変わってきた。

### 4. 今後の課題と発展

- ・ 理科の学習内容と自然調査能力との整合性を明らかにして、総合的な学習等の有効な活用を工夫するようにしていく。
- ・ 若久水族館をさらに拡大して、水生生物の観察から自然環境を子供自ら学ぶ学習環境作りを行っていく。

### 5. 発表論文、投稿記事及び当財団へのご意見など

特になし